

## 函館市地域包括支援センターときとう

### 1 センターの概要（令和6年（2024年）3月31日現在）

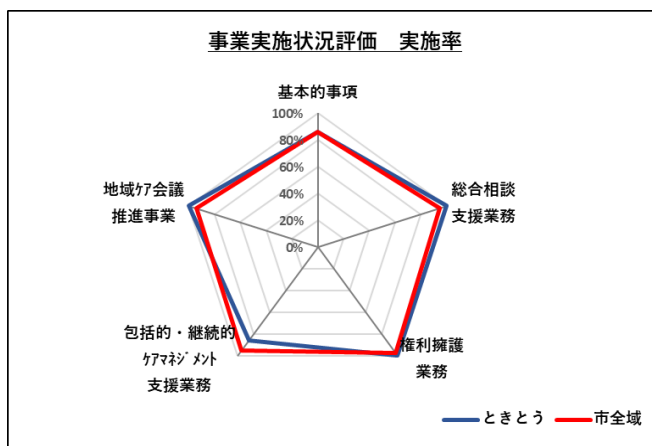
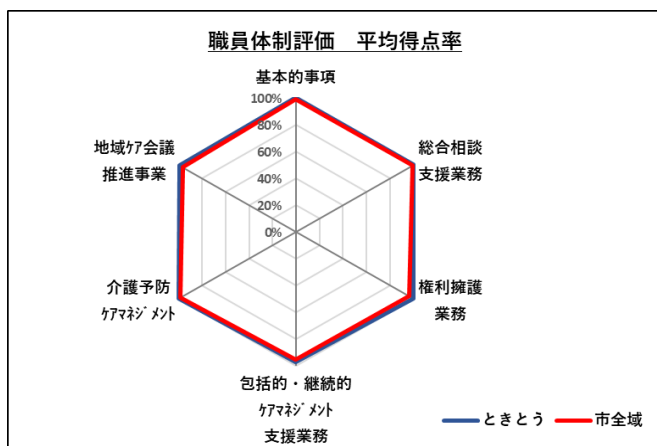
運営法人	医療法人大庚会	所在地	函館市時任町35番24号
担当圏域	中央部第2圏域（人口：24,842人・高齢者人口：9,096人・高齢化率：36.6%）		
配置基準職員数	6名（保健師1名・社会福祉士2名・主任介護支援専門員2名・事務員1名）		
配置基準外職員数	3名（社会福祉士2名・主任介護支援専門員1名）		

### 2 評価結果概要

#### （1）職員体制評価・事業実施状況評価

事業種別	職員体制評価 平均得点※			事業実施状況評価 実施率		
	配点	ときとう	市全域	項目数	ときとう	市全域
基本的事項	45.0点	45.0点	44.5点	7項目	85.7%	85.7%
総合相談支援業務	30.0点	30.0点	29.7点	13項目	100.0%	94.6%
権利擁護業務	30.0点	30.0点	28.8点	13項目	100.0%	97.7%
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	21.0点	20.4点	20.1点	7項目	85.7%	95.7%
介護予防ケアマネジメント	15.0点	15.0点	14.8点	—	—	—
地域ケア会議推進事業	18.0点	17.8点	17.3点	10項目	100.0%	94.0%
合計	159.0点	158.2点	155.2点	50項目	96.0%	94.0%

※評価尺度の1を3点，2を2点，3を1点として個人の得点を算出し，全職員の得点の合計を職員数で除したものの。



#### 【基本的事項】

##### ○ 効果的な取組

- ・外部研修の参加機会を多く設けており，積極的に自己研鑽を図ることができている。

##### ○ 課題等

- ・活動計画の策定時，PDC Aサイクルを意識した協議が行われているが，アウトカム（結果）評価が不十分で，前年度の取り組みを次年度の目標・計画に十分反映できていない。

#### 【総合相談支援業務】

##### ○ 効果的な取組

- ・ネットワーク構築機関数および新規ネットワーク構築機関数が多く，分野も多岐に渡っている。また，効果的な連携が維持できており，地域ケア会議等の業務に活かしている。

### 【権利擁護業務】

#### ○ 効果的な取組

- ・対応困難ケースでは、担当者だけではなく、全職員で取り組む意識を持ち、チームアプローチを強化している。

#### ○ 課題等

- ・職種が偏ることなく対応できているが、チームアプローチを強化していくために、配置基準外職員を含めたスキルアップが必要である。

### 【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】

#### ○ 課題等

- ・介護支援専門員と多職種の連携体制を構築するためのケアマネジメント研修を開催していないため、医療やリハビリテーション等の多職種の参加や関係機関についての情報提供など、連携体制の構築を目的とした研修の開催を検討する必要がある。

### 【地域ケア会議推進事業】

#### ○ 効果的な取組

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議において、日々の地域活動で構築したネットワークを活用して幅広く参集し、地域課題の共有や地域づくりの検討を行うことができている。

#### ○ 課題等

- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議において、さらなる内容の充実に向け、介護支援専門員が、より参加しやすくなるような開催方法等を検討する必要がある。

## (2) 運営体制評価

- ・基準を上回る3職種の配置や継続勤務年数が長いことなど、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- ・現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- ・外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制が整備されている。
- ・同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営が行われている。